関西自然保護機構会報

No.18

目　　次

巻　頭　言

自然保護と危険察知能力……小　川　房　人……1

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

主として水生動物からみた但馬地方諸河川の水質の現状……西　村　　登……3

ハリヨの分布とその減少……森　　誠　一……21

大阪の自然保護運動の研究……本　多　俊　之……29

猪名川自然林保護運動について……岡　野　錦　弥……37

柳　楽　　忍

大塔山系前ノ川国有林の保護についての意見書……52

現在伐採中の大塔山系前ノ川国有林について……後　藤　　伸……53

丹生・帝釈山系総合調査……木　村　忠　雄……61

関西自然保護機構会則……67

1989年8月

関西自然保護機構

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organization of Nature Conservation）

KONCはなんらかの形で，専門家として自然環境保護にかかわる人たちを幅広く組織して，自然環境保全に関する各分野での研究を結集し，その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして，1978年に創立されました。

KONCはその活動の成果と，会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて，近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザリー・ボディ（助言勧告機関）として，社会の要請にこたえることを企図しています。

現在，次のような活動をしています。

1．　基礎研究の実施
2．　シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3．　現地見学会の開催
4．　研究助成金の交付
5．　会報・連絡紙の発行
6．　自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7．　自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8．　国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は，個人会員・推持会員の会費により，まかなわれています。